

新中期経営計画

新たなステージへ



世界・社会貢献・共創

株式会社バイテックホールディングス
2018年2月26日

新中期経営計画 策定の目的

『世界・社会貢献・共創』をキーワードに、各事業領域における新たな成長戦略を付加し、第34期中期経営計画を策定いたしました。

事業の新たな展開による収益の拡大 構造改革 高付加価値への転換

- | | |
|--------|--------------------------|
| ・植物工場 | 植物工場事業の大展開 |
| ・エネルギー | FIT制度変化への対応、再生可能エネルギーの進展 |
| ・デバイス | 構造改革、顧客戦略の再考と組織体制の変化 |
| ・新電力 | 電力システム及び調達価格の見きわめ |

経営ビジョンと事業領域

世界・社会貢献・共創



基本方針・数値目標

『世界・社会貢献・共創』

方針

事業の新たな展開による収益の拡大
構造改革 高付加価値への転換

2019年度 第33期
(昨年開示)

2020年度 第34期

売上高

2,700億円

3,000億円

営業利益

56億円

80億円

2.6%

経常利益

46億円

65億円

2.1%

当期純利益

32億円

40億円

1.3%

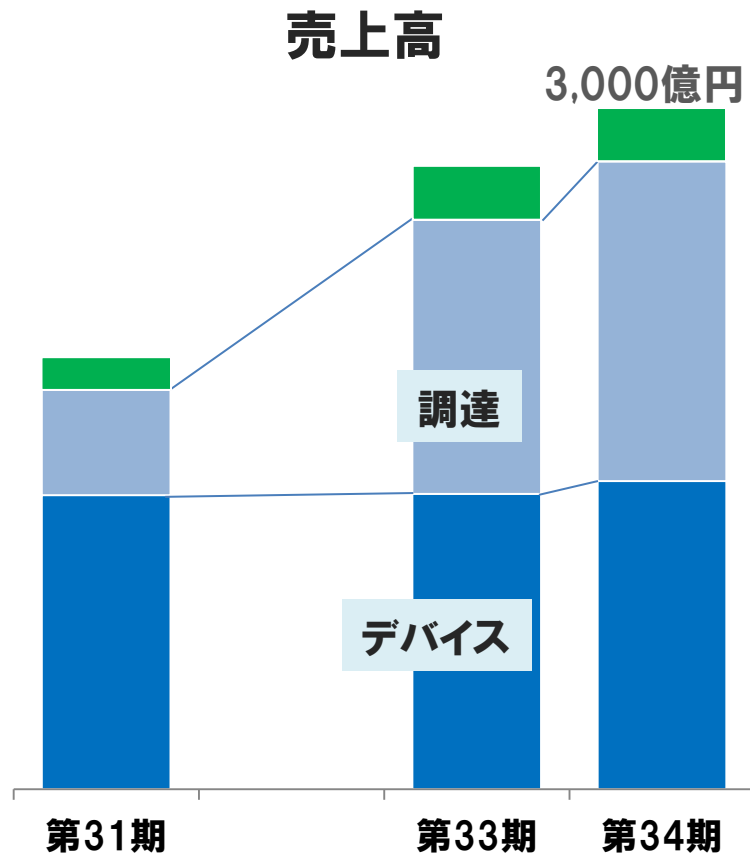
一株当たり 当期純利益

220円以上

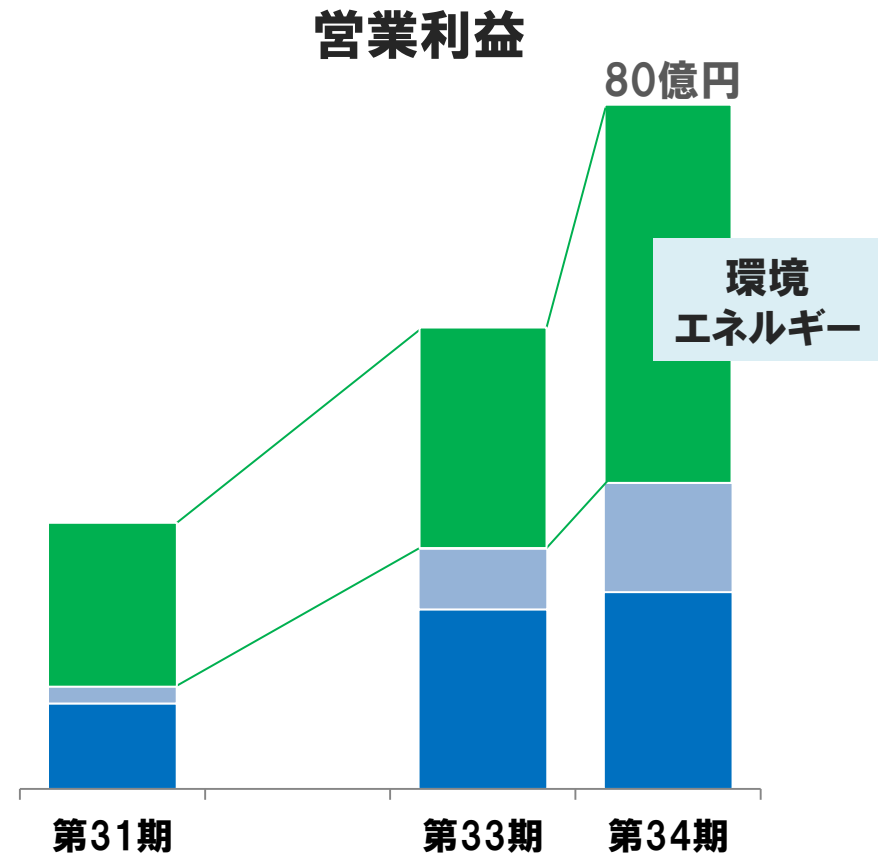
270円以上

規模の拡大、収益の追求

規模の拡大



収益の追求



重点目標・キーワード

HD スタッフ	<ul style="list-style-type: none">・HD機能/役割の再設計 ・効率化の追求・KPI経営の導入 ・資本政策による財務体質改善
デバイス事業	<ul style="list-style-type: none">・構造改革と効率化の徹底（顧客戦略の再考）・高収益ビジネスの創出（新規事業、ラインナップ戦略）
調達事業	<ul style="list-style-type: none">・パナソニックビジネスの拡大・ビジネス横展開の加速と新ビジネスモデルの創出
電子機器事業	<ul style="list-style-type: none">・新たな領域でのビジネスの創出・パートナーとの共創による規模拡大
エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none">・FIT制度変化への対応・太陽光以外のビジネス創出と収益向上の取組み
新電力事業	<ul style="list-style-type: none">・電力システム改革に向けた取組み・特色のあるビジネス創出
植物工場事業	<ul style="list-style-type: none">・新しい局面に向けた事業の大展開・他社との共創による新たな取組み

主要経営指標

中期目標

自己資本比率	20%以上	財務体質の改善
DEレシオ	1.5未満	
ROA	5.5%以上	資本効率の向上
ROE	17%以上	
純資産	250億円以上	資本政策の活用 資産規模の拡大
配当性向	30%以上	安定かつ 継続的な配当
EPS	270円以上	企業価値向上

<その他補足>

* 為替予約管理方法の変更によるヘッジコストの削減

* 在庫圧縮、キャッシュフローの活用等、事業資金創出と財務基盤のより一層の強化

* DEレシオ：有利子負債(リース債務除く)÷自己資本

将来の見通しに関する注意事項

この開示資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な外部要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

お問い合わせ

株式会社バイテックホールディングス
経営企画部

電話:03-3458-4623

Mail:info@vitec.co.jp